

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学期	単元 問うこと語ること 【知識及び技能】 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集整理して、伝えあう内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ものの見方、感じ方を深めようとしている。	・指導事項 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 ・「境目」ということばで表現できる過去の経験や出来事をあげ、伝えあう。 ・教材「境目」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集整理して、伝えあう内容を検討することができる。 ・ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	6
	単元 評論文への招待 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組み方や接続の仕方について理解する。 ・評論文における学術的な術語についてその用いられ方やはたらきを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理展開を追いながら、論旨を的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ことば」やテクノロジーと人間の関係について興味をもつ。	・指導事項 ・具体例から抽象的な内容を読み取らせる。 ・段落相互の関係や対比をつかみ、論の構造を理解する。 ・言語の枠組み・監視社会について考え意見を交換する。 ・教材「ことばとは何か」「デジタル社会」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・文章の効果的な組み方や接続の仕方について理解している。 ・評論文における学術的な術語についてその用いられ方やはたらきを理解している。 ・論理展開を追いながら、論旨を的確に読み取ることができる。 ・「ことば」やテクノロジーと人間の関係について興味をもっている。	○	○	○	8
	単元 ことばで伝える思いと考え 【知識及び技能】 ・身近なことがらについて、根本から見つめなおす文章を読むことで、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体と抽象の関係に関心を持ち、ものの見方、考え方を深める。	・指導事項 ・抽象的な主張を多様な具体例で積み上げていく議論の仕方に親しむ。 ・教材「身体この遠きもの」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・身近なことがらについて、根本から見つめなおす文章を読むことで、語彙を豊かにしている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え工夫している。 ・具体と抽象の関係に関心を持ち、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2 学 期	単元「話し合い」から「議論」へ 【知識及び技能】 - 話し言葉や書き言葉の特徴や役割や表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ適切さなどに配慮した表現や言葉遣いを理解し使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 論点を共有し考えを深めつつ、話し合いの目的や種類、状況に応じて話し合いの仕方や結論のだし方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 教材の内容に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深める。	・指導事項 - 現代の日本社会について書かれた文章を読み、自信の考えを鮮明に示し、他者の意見に誠実に耳を傾ける。 - よりよい結論を導きだすにはどうすべきか、考えさせる。 - 教材 「〈私〉時代のデモクラシー」 - 一人1台端末の活用 等 - 資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・話し言葉や書き言葉の特徴や役割や表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ適切さなどに配慮した表現や言葉遣いを理解し使用している。 ・論点を共有し考えを深めつつ、話し合いの目的や種類、状況に応じて話し合いの仕方や結論のだし方を工夫している。 ・教材の内容に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深めている。	○	○	○	6
	単元 伝えること受け止めること 【知識及び技能】 - 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 目的に応じて、様々観点から情報を収集し伝え合う内容を検討する。 ・論点を共有し、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 情報社会の現状や他者への言葉への向き合い方に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深める。	・指導事項 - 情報社会の現状を認識し、「情報」への態度を考えさせる。 - 身体と記憶と言語の関係について読み取り、他者の言葉への向き合い方について考え、意見を交換する。 - 教材 「ポスト真実時代のジャーナリズム」「記憶する体」 - 一人1台端末の活用 等 - 資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・目的に応じて、様々観点から情報を収集し伝え合う内容を検討している。 ・論点を共有し、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・情報社会の現状や他者への言葉への向き合い方に関心を持ち、意見を交換しながら、考えを広げ深めている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	単元「根拠」から「主張」へ 【知識及び技能】 - 主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 文章の種類をふまえ、内容や構成論理の展開についての的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 - 現代人の思考や、「差異」について等教材の内容に関心を持ち、考えを広げ深める。	・指導事項 - 結論の理解だけでなく、そこに至る筆者の思考や議論を丁寧に読み解く。 - 現代の本質的な課題について、じっくりと考えさせる。 - 教材 「魔術化する科学技術」「マルジャーナの知恵」 - 一人1台端末の活用 等 - 資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・文章の種類をふまえ、内容や構成論理の展開についての的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・現代人の思考や、「差異」について等教材の内容に関心を持ち、考えを広げ深めている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1

[illegible]

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1 組：堀川真理子）（2 組：宗京少織）（3 組：堀川真理子）（4 組：宗京少織）
（5 組：豊田佐和子）（6 組：吉野由紀）（7 組：豊田佐和子）（8 組：吉野由紀）

使用教科書：（筑摩書房 言語文化 ）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試はもちろん、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感や豊かに想像できる力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたって日本の言語作品に親しみ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉により他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
一 学 期	第1章 古文への扉 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法（特に用言）を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳をし、発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ◎教材 「児のそら寝」「大納言頼雅卿」「絵仏師良秀」「大江山」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○歴史的仮名遣い、文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○説話の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○説話という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	第8章 漢文への扉 【知識及び技能】 ○漢文読解に必要な句法、語彙を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して書き下し文や口語訳をし発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法など協働して学び、書き下し文や口語訳をできるようにする。	◎指導事項 ○漢文作品へ興味関心を持たせる。 ○漢文訓読の仕方を学ぶ。 ○古代中国の世界観を理解する。日本文化との関連も理解する。 ◎教材 「漢文入門」「憲法十七条」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	到達度テスト			○	○	○文法、句法事項など知識が定着している。 ○初見の文章を知識を使って読解できる。	○	○	○	1
	第2章 人間の普遍的な姿 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。和歌修辞法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や心情を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○和歌の修辞法、読解を学ぶ。 ◎教材 『かぐや姫』『伊勢物語』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○物語の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○物語という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 ○和歌の修辞法や鑑賞を通して日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	8

第9章 漢語の特色 【知識及び技能】 ○漢文読解に必要な句法、語彙を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○漢語の成り立ちを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法など協働して学び、訓読や口語訳をできるようにする。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○故事成語の内容を理解する。 ◎教材 「故事成語」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○故事成語の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
第13章 日本語の変遷 【知識及び技能】 ○近代語の成立の経緯を学ぶことで、古文からの変遷を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○近代語が成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ○言文一致体の成り立ちを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○書き言葉と話し言葉の違いなどを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○近代語、言文一致体の成立を理解させる。 ○話し言葉と書き言葉の違いを意識させる。 ◎教材 「近代語の成立」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○近代語や言文一致体の成立を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化との関係について理解している。 ○近代語、言文一致体の成立を学ぶことで、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	3
第1回定期考査			○	○	○文法、句法事項など知識が定着している。 ○意見を伝える言葉で表現できる。	○	○	○	1
第14章 想像力がひらく世界 【知識及び技能】 ○近代小説の語彙や表現を理解し、登場人物の心情の理解方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○小説の構成や登場人物の心情などを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○小説読解の方法を理解させる。 ○作品の世界観や登場人物の心情を話し合い、発表させる。 ◎教材 「羅生門」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○小説作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○「今昔物語集」と読み比べて、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化についてや視点の異なりについて理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
第3章 自分という他者 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。和歌修辞法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や心情を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○日記文学へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○和歌の修辞法、読解を学ぶ。 ◎教材 『土佐日記』『更級日記』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○日記の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○日記作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○和歌の修辞法や鑑賞を通して日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	8
第10章 言動に表れる人間の本质 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚える。 ○史伝の歴史背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○登場人物の人物像を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○史伝の内容を理解する。 ◎教材 「管鮑之交」「刺客荊軻」など。 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○史伝の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 ○史伝の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
第4章 言葉に表れる意思 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や内容を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○随筆文学へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○筆者の考え方や世界観を考え、発表する。 ○和歌の修辞法、読解を学ぶ。 ◎教材 『徒然草』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○『徒然草』の歴史的・文化的背景などを理解している。また兼好のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○随筆の読解を通して、日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6

二 学 期	第2回定期考査			○	○	○文法、句法事項など知識が定着している。 ○意見を伝える言葉で表現できる。	○	○	○	1
	第15章 多彩な表現とイメージ 【知識及び技能】 ○現代随想の語彙や表現を理解し、読解方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○各随想の構成や表現、内容などを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○随想読解の方法を理解させる。 ○筆者の考え方や世界観、表現方法を話し合い、発表させる。 ◎教材 「失われた両腕」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○語彙を増やし、文や文章の中で使える。 ○随想作品に表れている筆者のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○各随想の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	第5章 転換期の文体と行動 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して、口語訳や内容を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○軍記文学へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○作品に現れる考え方や世界観を考え、発表する。 ◎教材 『平家物語』『木曾の最期』 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○『平家物語』の歴史的・文化的背景などを理解している。また作品に表現されているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ○軍記の読解を通して、日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	8
	第11章 韻文の表現 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚える。 ○唐詩の規則を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○唐詩の読解、鑑賞をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○唐詩の規則、句法、内容など協働して学び、漢詩読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各唐詩に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○唐詩の内容を鑑賞する。 ◎教材 「鹿柴」「江雪」など。 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○唐詩の規則を理解している。 ○唐詩の歴史的・文化的背景などを理解し、日本文化への影響も理解している。 ○唐詩の規則や句法を踏まえ、構成などについての的確に捉えている。 ○唐詩の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	第3回定期考査			○	○	○文法、句法事項など知識が定着している。 ○意見を伝える言葉で表現できる。	○	○	○	1
	第6章 韻文の表現 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。和歌・俳句修辭法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○習得した語彙・文法・修辭法を利用して、口語訳や解釈を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○口語訳、解釈を協働してできるようにする。	◎指導事項 ○和歌・俳句の修辭法、読解を学ぶ。 ○和歌・俳句へ興味関心を持たせる。 ○韻文読解に必要な知識を付ける。 ○韻文に表現された心情や世界観を考え、発表する。 ◎教材 『万葉集』『古今和歌集』など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○和歌・俳句を読むために必要な修辭法、特有の表現などについて理解している。 ○各和歌集や俳文の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○韻文作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。日本伝統文化の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	8
	第12章 読みつがれることば 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚える。 ○中国思想の歴史背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をし、発表する。 ○中国思想の世界観を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○中国思想の内容を理解する。 ◎教材 『論語』『老子』など。 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○中国思想の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての的確に捉えている。 ○思想の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ○教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	8

三 学 期	第16章 韻文の表現 【知識及び技能】 ○近現代日本語韻文の表現を理解し、解釈・鑑賞方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ○内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○近現代日本語韻文の構成や登場人物の心情などを協働して学ぶ。	◎指導事項 ○読解に必要な語彙力を付ける。 ○韻文読解の方法を理解させる。 ○作品の世界観や鑑賞・解釈を話し合い、発表させる。 ◎教材 「竹」「二十億光年の孤独」など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。				○ ○ ○	○ ○ ○	5
	第7章 練り上げられた思考 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を覚える。和歌・俳句修辭法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○習得した語彙・文法・修辭法を利用して、口語訳や解釈を考え発表する。 ○古文の世界観を考察し、発表する。 【学ぶに向かう力、人間性等】 ○口語訳、解釈を協働してできるようにする。	◎指導事項 ○和歌・俳句の修辭法、読解を学ぶ。 ○和歌・俳句へ興味関心を持たせる。 ○韻文読解に必要な知識を付ける。 ○韻文に表現された心情や世界観を考え、発表する。 ◎教材 『万葉集』『古今和歌集』など ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。				○ ○ ○	○ ○ ○	4
	第4回定期考査					○ ○	○ ○ ○	1
								合計 105

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1組：松永忠久）（2組：井出千青）（3組：井出千青）（4組：井出千青）
（5組：中野靖子）（6組：中野靖子）（7組：井出千青）（8組：松永忠久）

使用教科書：筑摩書房 文学国語（ ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試はもちろん、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	随想・評論（一）（二） 【知識及び技能】 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集整理して、伝えよう内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ものの見方、感じ方を深め、評論の基本的な読みを習得する。	・指導事項 ・豊かな認識へと導く言葉にふれ味わう。 ・構成や展開、表現の仕方をふまえ、解釈の多様性について考察させる。 ・教材「情報の彫刻」「バイリンガリズムの政治学」「実体の美と状況の美」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方など、的確に捉えている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	15
	小説（一） 【知識及び技能】 ・文学的文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深める。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・選んだ題材に応じて情報を収集、整理し表現したいことを明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・小説を読み、人間に対する深い感受性を養う。	・指導事項 ・小説を読み自分なりの印象をまとめて表現する。 ・「変身」をめぐる主人公の考えや心情を理解しまとめる。 ・古今の変身譚を読み、作品への理解を深める。 ・教材「山月記」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・文学的文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・選んだ題材に応じて情報を収集、整理し表現したいことを明確にしている。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	9
	第1回考査						○	○		1
2 学 期	随想・評論（四） 【知識及び技能】 ・自分とは異なる感じ方、人や物やことばとの関わり方の多様性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察させ、現実を多面的に捉える想像力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に興味を持ち、言葉がもつ価値への認識を深めさせる。	・指導事項 ・身近な題材を取り上げ、背後にある問題を読み解かせる。 ・論旨の展開を読み取らせる。 ・記号論やソシユールの言語思想について関心を広げ、理解を深めさせる。 ・教材「記号論と生のリアリティ」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などの確に捉えている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	6
	随想・評論（六） 【知識及び技能】 ・言語や国、時代の違う文章に触れ、言葉に込められた意味を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・矛盾や葛藤を含めて物事を伝える文学の力について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に興味を持ち、言葉がもつ価値への認識を深めさせる。	・指導事項 ・身近な題材を取り上げ、背後にある問題を読み解かせる。 ・随想の特徴を理解させる。 ・過去の作品・資料などにふれ、現在のあり方を考えさせる。 ・教材「死者の声を運ぶ小舟」 ・一人1台端末の活用 等 ・資料検索利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方など、的確に捉えている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞く。読書に親しみ、言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方を深めている。	○	○	○	6
	第2回 定期考査						○	○		1
2 学 期	随想・評論（七） 【知識及び技能】 ・文章のテーマに関連付けて語彙や概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や全体の構成、例示、引用、	・指導事項 ・自らの世界観に形を与えてくれる言葉を探させる。 ・様々な例示から、筆者の描く内容を正確に把握させる。 ・筆者の文章構成技法を学ばせ、探				・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し語彙を増やし、それぞれの文章の特徴などについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方など、的確に捉えている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、				

[illegible]

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1組：小平響太）（2組：小平響太）（3組：中野靖子）（4組：中野靖子）
（5組：松永忠久）（6組：小鷹聡子）（7組：松永忠久）（8組：小鷹聡子）

使用教科書：（明治書院 精選古典探究 古文編・漢文編）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活で他者と伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたり国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試はもちろん、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力、深い共感や豊かに想像できる力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値認識、言語感覚を高め、生涯にわたって日本の言語作品に親しみ、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉により他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 説話 1 5 随筆 2 7 物語 2 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○和歌解釈、和歌の歴史的背景 ◎教材 沙石集「兼盛と忠見」 枕草子「すさまじきもの」 「中納言参り給ひて」 大鏡「南院の號射」 「花山院の退位」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○説話、随筆、物語という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	25
	1 故事・寓話 2 史話・史伝 1 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○史伝の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○故事・寓話・史話・史伝の内容を理解する。 ◎教材 「漱石枕流」「杞憂」「五十歩百歩」「背水の陣」「水魚之交」「赤壁之戦」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての的確に捉えている。 ○故事、寓話、史話、史伝の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	12
	第1回考査						○	○		1
2 学 期	6 物語と日記 2 2 随筆 1 【知識及び技能】 ○古文読解に必要な語彙、文法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・文法を利用して口語訳をさせ、発表させる。 ○古文の世界観を考察し、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○文法、語彙調べなどを協働して、口語訳、解釈をできるようにする。	◎指導事項 ○古文作品へ興味関心を持たせる。 ○古文読解に必要な知識を付ける。 ○登場人物の心情や世界観を考え、発表する。 ○日記・随筆文学の歴史的背景 ◎教材 更級日記「門出」「源氏物語を読む」 方丈記「ゆく河の流れ」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○文法・語彙などを通して日本語の歴史的・文化的な背景を理解している。 ○古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 ○日記、随筆という文章の種類や各作品の時代背景を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	12
	4 文 7 小説 【知識及び技能】 ○句法、語彙を覚えさせる。 ○思想に基づいた文や漢文小説の歴史背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ○調べ、覚えた語彙・句法などを利用して訓読や口語訳をさせ、発表させる。 ○登場人物の人物像を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○句法、内容など協働して学び、漢文読解力を高める。	◎指導事項 ○漢文訓読を理解する。 ○各教材に描かれた当時の中国の人々の生活、考え方・感じ方を理解する。 ○文、漢文小説の内容を理解する。 ◎教材 「漁父之辞」「人面桃花」 ◎一人1台端末の活用 等 ○資料検索・利用、ノート作成、意見まとめ提出等。	○	○	○	○漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての的確に捉えている。 ○文（辞）や小説の訓読や口語訳を学ぶことで、日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、日本の言語文化や古代中国の文化に興味・関心を深めようとしている。	○	○	○	6
	第2回考査						○	○		1

[illegible]

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	国語科 国語甲(現代文B)	単位数	2	対象学年・組	3年必修選択
使用教科書 教材	教科書:精選 現代文B(筑摩書房) 教材:三訂版 入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP 2500(いわずな書店)、現代文キーワード読解[改訂版](Z会出版)、巻頭増補版 最新国語便覧(浜島書店)、評論速読トレーニング 700(数研出版)、評論速読トレーニング 2000(数研出版)、小説速読トレーニング(数研出版)、アップリフト現代文 入試発展 改訂版(Z会出版)、共通テスト+センター試験国語過去問題(尚文出版)	教科担当者		井出千青、小平響太、堀川真理子、宗京少織	

教科・科目のねらい(目標)

- ・ 近代と現代の文章を学習することにより、読み、書き、発表する能力を養成し、国語力を深める。
- ・ 評論の読解を通して論理的な文章の理解力を深め、併せて入試に対応した問題演習を行う。
- ・ 文学的な文章を通して、人間の心情や詩的情緒についての理解力を深める。
- ・ 小論文などの指導を通して、表現力の向上をめざす。

月	指導内容	指導目標	評価の観点方法	予定時数
4	小説、随想	良質な小説または随想を読み、根拠を明確にした読解ができるようにさせる。	○年間3回の定期考査においては、授業	6
5	小説	「舞姫」を読み、日本近代化の問題点について考察するとともに、明治擬古文の文体に	に対する総合的な理解度を評価する。	9
6	小説	習熟する。		9
7	評論	良質な評論文を読み、様々なものの見方触れさせ、視野を広げさせる。	○単元に関するレポート提出、小論文添削等を通じ、文章読解、	8
8			文章表現についての成果を評価する。	2
9	評論、小説、随想	過去問演習		8
10	評論、小説、随想	→夏以降(9月～1月)は、センター試験や各大学の過去問を中心に、評論、小説または随想の読解力を伸ばす。適宜、個別演習対応	○漢字小テストや宿題の提出も勘案する。	8
11	評論、小説、随想	(小論文なども含む)を行い、各生徒の進路実現を目指す。		8
12	評論、小説、随想			8
1	評論、小説、随想			(2学期)計34
2				4
3				(3学期)計4
				計70

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	国語科 国語乙(国語総合)	単位数	2	対象学年・組	3年 1～8組
使用教科書 教材	教科書：「精選国語総合」(筑摩書房) 教材：「センター試験国語過去問題(尚文)」 「古文単語330」(いいずな)、「体系漢文」(数研) 「完全マスター古典文法」(第一)	教科担当者		小鷹聡子、豊田佐和子、 中野靖子、吉野由紀、本間眞希	
教科・科目のねらい(目標) 国語(現代文・古文・漢文)の基礎・基本事項を定着させ、受験に対応できる力にまで高める。					
月	指 導 内 容	指 導 目 標		評価の観点方法	予定 時数
4	現代文・古典共に学習する 現代文(評論)の読み方・ 問題の解き方	論理的に読解する手法を学ぶ。		思・知 小テスト	4
5	現代文(小説)の読み方・ 問題の解き方	本文描写より登場人物の心情を読み取る手法を学 ぶ。			8
6	古 典(古文)の読み方・ 問題の解き方	古典を通して、歴史の中の人間の行動や考え方、		思・知	8
7	古 典(漢文)の読み方・ 問題の解き方	古代の中国人の行動や考え方を学ぶ。 入試問題を素材に演習を適宜行う。		定期考査	8
8	古典文法と古語の学習と演習 漢文句法の学習と演習 語彙力の学習と演習	文法事項の復習をし、古文読解力を高める。 漢文句法の復習をし、漢文読解力を高める。 古語の語彙を増やす。			2
9	過去問題による問題演習				8
10	平成30年度本試験 〃 追試験 平成31年度本試験 〃 追試験	過去のセンター試験問題をやることで、入試に対応 できる力を養う。			10
11	令和2年度本試験 〃 追試験 令和3年度本試験 〃 追試験				8
12	令和4年度本試験 〃 追試験 令和5年度本試験 〃 追試験				8
1	個別指導				2
2					38
3					4
合計					70

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	国語科・国語表現	単位数	2	対象学年・組	3 年(選択)
使用教科書 教材	教科書： 国語表現(東京書籍) 教 材： 国語便覧（第一学習社）	教科担当者	井出 千青		
教科・科目のねらい(目標) Ⅰ 小論文の形式的な表現・構成について学ぶ Ⅱ 小論文の内容的な素材・知識について知る Ⅲ 小論文の応用的な演習を、入試問題を素材にして行う					
月	指 導 内 容	指 導 目 標	評価の観点方法	予定 時数	
4	基礎演習(個別添削)	① 基本練習 原稿用紙の使い方・文体・段落構成	思・知 Ⅰ 課題プリントを 添削して評価する	4	
5		② 意見文 賛否の立場と論点の立て方	Ⅱ 小テストを採点 して評価する 《テーマ》 教育／社会／ 科学／医療／ 国際化など	6	
6		③ 主題文 テーマに対する主張		8	
7	形式別演習(個別添削)	④ 要約・意見文 文章の要約と意見の融合	Ⅲ その他、夏季 休業等に随時 課する宿題により 評価する	8	一学期
8	応用演習(個別添削)	⑤ 課題文 文章の読解と自説の主張		18	
9		⑥ 分析文 データ・資料の分析と対応		8	
10	個別演習(個別添削)	⑦ 複合文 複数の文章や資料の読解		8	
11		⑧ 入試問題演習 実際に出題された問題を素材に応用練習を する		12	
12		⑨ 個別添削 各人の受験する大学の問題に取り組む		12	
1				40	二学期
2				12	
3				12	
				合計	三学期
				70	12

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	国語科 古文(古典A)	単位数	2	対象学年・組	3年 選択科目
使用教科書 教材	教科書:物語・史伝選 古典A(筑摩書房) 精選古典B 古文編(教育出版) 副教材:古文単語 330 完全マスター古典文法 基礎が身につく古典レベル3、まぎらわしい語の識別マスターノート、最新国語便覧、センター試験過去問題集	教科担当者	小平響太、堀川真理子		
教科・科目のねらい(目標) 古典のうち、古文を読解、鑑賞することによって、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、 古典に親しみ続ける態度を育てる。					
月	指 導 内 容	指 導 目 標	評価の観点方法	予定 時数	
4	歴史物語	歴史物語を読むことによって、歴史物語の登場人物の言動やものの考え方、感じ方や作品の全体像をとらえ、筆者が描こうとした人間像に理解を深める。	○定期考査では総合的な力をはかる。	6	
5				6	
6	日記・随筆	日記文学を読むことで、当時の人々のものの見方や感じ方、世態風俗などに関する理解を深めると同時に、心情を読み取る技術を養う。		8	
7			○単語、文法の小テスト、宿題等を平常点として評価する。	6	
8				1 学期 26	
9	物語	『源氏物語』を読むことで、長編としての構想と登場人物の人間像を理解する。優れた心理描写、それぞれの立場と人間のあり方、時代と社会の連関などについて考察する。 あわせて過去問演習を行う。		8	
10			○大学入試問題の演習を行い、取り組み状況や提出状況も勘案する。	8	
11	評論	論理的な文章の読解を通して、それぞれの時代の思想、文学観、人生観などを理解する。		8	
12		『風姿花伝』、『源氏物語玉の小櫛』、『俊頼髓脳』『三冊子』などの文章を読解する。 あわせて過去問演習を行う。		2 学期 30 6	
1				8	
2		以下、個別演習に対応する。		2 学期 14	
3				合計 70	

令和5年度 年間授業計画

都立国立高等学校

教科・科目	国語科 漢文(古典B)	単位数	2	対象学年・組	3年(選択) ① ~⑤
使用教科書 教材	教科書: 精選古典B漢文編(教育出版)・ 教材: ステップアップノート(河合塾) 体系漢文(数研出版) センター過去問演習(尚文出版)		教科担当者	松永忠久、小鷹聡子	

教科・科目のねらい(目標)

1、2年時の学習をふまえ、古典としての漢文を読解鑑賞することを通して、古人のものの見方や考え方に対する理解、文化と伝統に対する関心を深め、古典に親しむ態度を育てる。同時に、大学入試に対応できる力を身につける。

月	指導内容	指導目標	評価の観点方法	予定 時数
4	句法・語彙の復習 史話「完璧帰趙」 「澠池之会」	・課題プリントで基礎事項を確認する。 ・人物関係をおさえ、文脈を正確に読み取る訓練をする。	思・知 課題プリント	6
5	史記「宋襄の仁」 「孫臏」	・「受身」「使役」「否定」「疑問」、漢文の構造などを確認する。漢文頻出語彙の確認をする。		6
6	史記「刎頸之交」	・当時の人間の行動や価値観を知る。 ・春秋戦国時代の背景を理解する。	思・知 句法テスト	8
7	漢詩「月下独酌」「石壕吏」 「長恨歌」	・「願望」「反語」「抑揚・比較」などを確認する。 ・古体詩を学び、近体詩との違いを知る。 ・「長恨歌」の日本への影響を学ぶ。	発問 定期考査	4
8		・「仮定」「抑揚・比較形」「疑問」などを確認する。 ・語彙を増やす。		24
9	思想「無恒産無恒心」 「勸学」「不尚賢」「治馬」 「公私相背」「非攻」	・いろいろな文体を知り、込められた意図や心情を学ぶ。 ・春秋戦国時代の思想を学び、儒家との違いを知る		8
10	共通テスト及び 私大・国公立二次対策演習	・名文に触れ内容を味わう。過去問演習 ・これまでの句法の復習、「詠嘆」などの確認。 ・作品読解とともに過去問演習を行う。		6
11	文「捕蛇者説」 小説「離魂記」	・文章の論旨を押さえて、筆者の意図を読み解くとともに、読む早さも意識する。 ・唐宋八大家、古文復興運動などの流れを学ぶ。 ・句法の確認と復習		6
12		・語彙の整理と確認 ・文章読解の実践力をつける	思・知 過去問演習	34
1	個別指導	・過去問演習で学んだことを実践する。 以下、個別演習に対応する		8
2				4
3				3学期 12 合計 70